

知ってほしい云えたい!

3 辛くて悲しいこともあるけど...
全てが悪いことばかりじゃない。
 たくさんのいい出会いもある!

家族 友達 先生 支援団体

1 「津波とんでんこ」

命を大切に!
自分の命を守って!!

各自バラバラで逃げろ!!

津波 強固な高い建物へ! まずは逃げて!

4 日常はある日突然崩れる。
あたりまえの、日々を
かけがえのない日々を 大切に。

私は大丈夫と
 思っていたけど、
 そうじゃなかった。
 他人ごとじゃ無い。

災害は
 いつどこで
 起きるか
 分からない。

2 日頃のちょっとした防災知識
 が役に立つ!!

電話がダメなら SNS 緊急に連絡を優先に

アウトドア知識や
 グッズは役に立つ!

キャンプに...!

住み慣れた土地が
 住まいを失う
 ハースも考えて。

震災や避難を経験した若者からのメッセージ

- 今も地震は全然怖いなという感覚で、恐怖心は拭えていません。余震が怖くて引越したいと思ったくらい。たまに少し揺れたときにも、全然無理。震災時の「怖い」記憶が強烈に残っていて、それが蘇ってきます。それは乗り越えるというものでもない。恐怖で震えるしかなく、どうしたらいいかわかりません。
- 学校の避難訓練で、私はすごく真面目に取り組んでいたけど、笑われたり、「地震なんてちょっと揺れるだけでしょ」とふざけられているのが嫌でした。子どもだけでなく、大人でも非常時の対応を知らない人もいます。みんなにちゃんと防災訓練を受けてもらいたいです。
- 日常はある日突然崩れます。一度崩れたものは時間をかけて元に戻るものがありますが、戻らないものもあります。「自分は大丈夫、そんなこと起こらない」と心のどこかで思っていませんか。私も震災当時そう思っていました。でもそれはある日突然やってきます。だから、当たり前だと思っている今と家族を大切にすることが後悔なく生きることに繋がります。今あるかけがえのないものを大切に。そして「想定外だった」を一つでも減らし、できることから備えることが自分と自分の大切なものを守るためにできることです。
- 被災して一人にいる人がいれば寄り添って欲しい。その人が何をしたいのか、そっとしておいて欲しいのか、相手の身になって考えて、少しでも声をかけて欲しい。それができる人が一人でも増えれば、救われる人が増えると思います。

311県外避難者について考えよう